

報道機関各位

令和6年 1月25日  
北九州市デジタル市役所推進室

## 北九州市 × デジタル庁 × ウイングアーク1st 自治体初！クラウドサービスでデジタルインボイスを送受信（実証）

インボイス制度の開始以降、民間企業ではインボイス（適格請求書）をデータ化した「デジタルインボイス」の利用が進んでいます。

そこで、この度、北九州市、デジタル庁及びウイングアーク1st社が協力して、北九州市と事業者間の請求書（デジタルインボイス）をクラウドサービスを介して送受信する実証を行うこととしました。

1月25日(木)の武内北九州市長の定例会見では、本実証に対する河野デジタル大臣からのビデオメッセージもご紹介します。

### 記

#### 1 実証期間 令和6年1月～3月末

#### 2 概要

現在、北九州市では事業者からの請求は、紙の持参や郵送が主体で、一部はPDFファイルで受け付けています。

今回の実証では、今年度の既存契約に基づく請求を国際標準仕様であるPeppol（ペポル）のデジタルインボイスを、それに対応したクラウドサービスで受け付けて、実際の支払い処理を検証します。

実証に使用するクラウドサービスはウイングアーク1st社から無償提供されます。

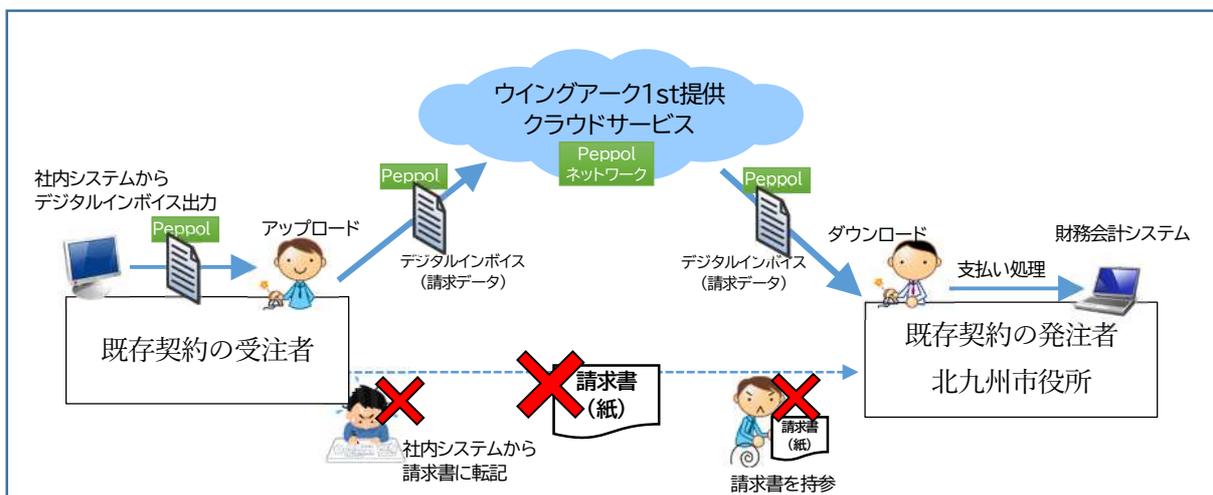


図 - 本実証の概要イメージ

## 2 目的と効果

### (1)事業者の負担軽減

事業者の負担になっている紙の請求書への記入と、それを郵送または持参する手間をなくし、さらに転記ミスリスクを軽減します。

また、多くの会計ソフトが、デジタル庁が管理するデジタルインボイスの標準仕様（JP PINT）に対応しており、システム改修は基本的に不要です。

### (2)北九州市の事務検討

デジタルインボイスで受信した請求データを確認し、審査や支払い等会計事務に支障がないか確認します。

また、将来に向けて、デジタルインボイスを内部のシステムに連携するための方策を検討します。

## 3 実証の関係団体とその役割・立場

### ◆ デジタル庁

Peppol に対応した日本のデジタルインボイスの標準仕様（JP PINT）を管理。

### ◆ ウイングアーク 1st株式会社

（東京都港区六本木三丁目 2-1 代表取締役 社長執行役員 CEO 田中 潤）

実証の取りまとめ。デジタルインボイスの送受信クラウドサービス提供。

### ◆ 北九州市

請求をデジタルインボイスで受信。審査・支払いの自動化を検討。

請求を送信する事業者としては、ウイングアーク 1 s t のほか、現時点では北九州市の IT 企業である株式会社インフォメックス（北九州市八幡東区東田一丁目 5-7）が参加する予定です。

## 4 デジタル庁と Peppol

「Peppol」とは、受発注や請求にかかる電子文書をネットワーク上でやり取りするための「文書仕様」「ネットワーク」「運用ルール」に関する国際標準仕様である。

デジタル庁は、日本の Peppol Authority<sup>※</sup>として、Peppol に対応したデジタルインボイスの標準仕様を管理している。

※ Peppol Authority … Peppol の仕様を管理する団体（OpenPeppol）のメンバー。各国における Peppol に対応したデジタルインボイスの標準仕様を開発・管理するとともに、自国のアクセスポイントプロバイダーの管理等も行う政府機関

### 【問い合わせ先】

デジタル市役所推進室

TEL 093-582-2144 担当課長：須山 担当係長：三浦